

北海道教育大学附属図書館 利用ガイド

国立国会図書館がやってきた！

hue



§ 国立国会図書館のデジタル化資料が利用できます！

附属図書館札幌館・旭川館では、本学構成員(教職員・学生)を対象に、国立国会図書館がデジタル化した資料を利用できます。

※ここでは、札幌館の利用についてご案内します。

🌸 閲覧できる資料

国立国会図書館のデジタル化資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な以下の資料が対象です。

資料種別	概要	点数
図書	昭和43年までに受け入れた図書、震災・災害関係資料の一部	約55万点
古典籍	明治期以降の貴重書等や清代後期以降の漢籍等	約2万点
雑誌	明治期以降に発行された雑誌(刊行後5年以上経過したもので、商業出版されていないもの)	約1万タイトル (約82万点)
博士論文	昭和63～平成12年度に国立国会図書館にて送付を受けた論文(商業出版されていないもの)	約13万点

☆ 国立国会図書館デジタルコレクション(<https://dl.ndl.go.jp/ja/>)で設定された検索範囲のうち、『送信サービスで閲覧可能』の資料が対象です！



※『ログインなしで閲覧可能』の資料は、インターネット環境があればどなたでも閲覧できます。

※『国立国会図書館内限定』の資料は、国立国会図書館内の端末でのみ閲覧できます。

北海道教育大学附属図書館ではご覧いただけません。

🌸 閲覧可能時間

平日:8時30分～17時 (平日夜間・土日祝は閲覧できません)

🌸 閲覧方法(あらかじめ、閲覧を希望する資料についてご確認願います)

『国立国会図書館デジタル化資料送信サービス閲覧申込書』に必要事項を記入のうえ、カウンターに提出してください。

- ・閲覧は館内の専用PCでのみ可能です。
- ・職員が操作するまで、送信サービス対象資料は閲覧できません。
- ・画面キャプチャやカメラでの撮影、USBメモリ等への保存はできません。
- ・複写を希望する場合は、別途複写申込が必要です。



🌸 複写について(著作権法の範囲内でのみ可能です)

マイライブラリ『複写依頼』からお申し込みください。

- ・複写料金が発生します。
- ・複写は職員が行います。お渡しが翌平日となることがありますので、ご了承ください。
- ・可能な限り鮮明な資料をお渡ししますが、国立国会図書館でのデジタル化環境により、不鮮明な箇所がありますことをご了承願います。